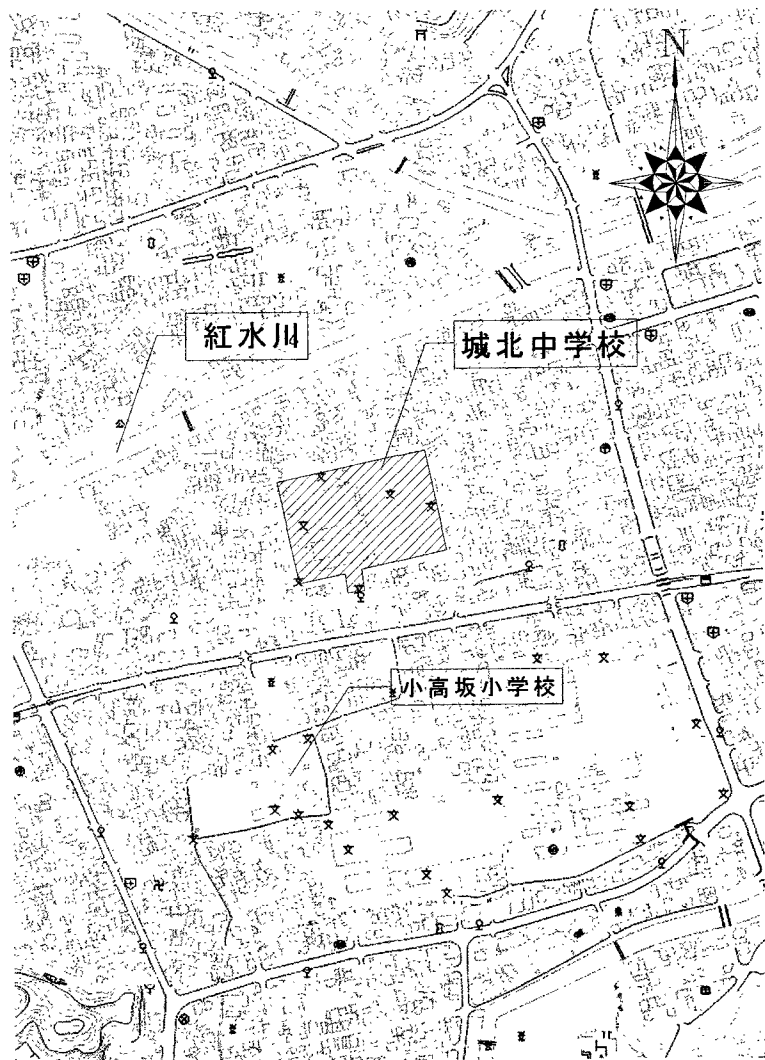


[illegible]

項 目		特 記 事 項	項 目	特 記 事 項	項 目	特 記 事 項						
㉔	特別な材料の工法	公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて当該材料製造所の指定する工法による。	3	仮設間仕切り（屋内） 設置箇所 ※ 図示 [2.3.2][表2.3.1] 間仕切り種別 ・ A種 ・ B種 ※ C種 A種、B種の場合 仕上げる材種 ※せっこうボード 厚さ9.5mm ・ 合板(普通合板) 厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ・ 行う ※ 行わない 仮設扉設置箇所 ※ 図示 ・ 仮設扉種別 ・ 合板張り木製扉程度 ・ 図示		・ POD1 ・ DI-1 ・ M3DI ・ DI-2 ・ M4DI	JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類：※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 厚さ： ・ mm ・ 図示	・ 高日射反射率塗料の適用 ※ 製造所の指定による 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない				
㉕	風圧力	本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものとし、速度圧を求める場合の風速(Vo)及び地表面粗土区分は、次の数値とする。 風速(Vo)： ※ 38m/sec ・ 36m/sec 地表面粗土区分： ※ Ⅲ ・ Ⅱ	④	監督職員事務所								
28	仕上面の出隅処理	内外部とも仕上出隅で利用者の手の届く範囲は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。 木部(家具を含む) 6mm程度 コンクリート、モルタル部 20mm程度 鉄部、金属部 3mm程度 建具類等、上記により難い場合は、監督職員と協議する。	5	監督職員の備品等	備品等の設置 [2.4.1] 備品等の種類 机・椅子 書 棚 黒 板 P C 掛 時 計 数 量 組 台 枚 台 個 備品等の種類 温 度 計 ゴ ム 長 靴 雨 が つ ば 保 護 帽 懐 中 電 灯 数 量 個 足 着 個 個 備品等の種類 衣類ロッカー 冷暖房機器 消 火 器 湯 沸 器 加入電話付属器 数 量 人 用 台 個 台 台 備品等の種類 掃 除 具 数 量 個							
29	事業損失補償	※現場説明書による。	⑥	工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ①利用できる (※ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない 構内既存の施設(電力) ①利用できる (※ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない 構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)～e)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、既設負荷への波及がないようにする。 また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。 構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)～c)に下記d)～e)を加える。 d) 工事用水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施し使用するものとする。 e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。 四国電力送配電株式会社などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。							
㉖	完成時の提出図書	・ 完成図(作成範囲 ・ 配置図 ・ 平面図 ・ 立面図 ・ 断面図 ・ 仕上表) [1.9.1][1.9.2] ・ 完成図(CADデータの提出 ※する(CD-R等) ・ しない) ・ 保全に関する資料(提出部数 ※2部 ・ 部) [1.9.3] 上記のほか、使用材料のメーカー名、品番、色(マンセル値等)をCADデータ等で監督職員に提出する。 ・ 工種別下請負者の一覧表 [1.9.2] ○ 施工図、施工計画書 提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	⑦	仮囲い	※図示 ・							
31	完成写真	下表のものを監督職員に提出する。 位 置 分類・規格 撮影枚数 部 数 ・ 各室 手札版(L版) ※2枚 ・ 枚※1部 ・ 部 ・ 外部 キャビネ版 ※4枚 ・ 枚※1部 ・ 部 ・ 外部 半切パネル(木製枠※アルミ枠) ※1枚 ・ 枚※1部 ・ 部 ・ スライド ※1部 ・ 部 カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。 撮影箇所は監督職員と協議する。 上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等にて提出する。 画像形式等 フォーマット：JPEG 画像サイズ：2816×2112ピクセル以上	⑧	仮設物撤去後の整地・跡片付け	※ 原形の復旧 ・ 良質土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ () [2.5.1]							
32	別途設備工事との取合い	施工範囲 ・ 貫通孔、開口部の補強 ※ 下表 ・ 図示 ・ 壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※ 下表 ・ 図示 ・ 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ・ 補 強 種 別 内 容 貫通孔、開口部の補強 梁 壁 スラブ 壁切込み及び補強 天井切込み及び補強		防水改修工事	① 降雨等に対する養生方法 ※3.1.3(5)による ・ [3.1.3] ② 既存下地の処理 既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ※ 図示 [3.2.6] 設備機器架台、配管受部、バラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部等の納まり部の処理 ※ 図示(図示のない場合は監督職員と協議による) ・ 製造所の仕様による							
33	撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。	3	アスファルト防水	屋根保護防水 防水層の種類 [3.3.2][3.3.5][表3.3.3～表3.3.6] 工 法 種 別 施工箇所 断熱材の厚さ 絶縁用シート 立上り部の保護 ・ P2A ・ A-1 ・ A-2 ・ A-3 ※ドライエポキシ樹脂厚さ0.15mm以上 ・ フラットヤーンクロス (70g/㎡程度) ・ 乾式保護材 ・ れんが押え ・ コンクリート押え ・ ・ P1B ・ B-1 ※B-2 ・ P2AI ・ AI-1 ・ AI-2 ・ AI-3 厚さ： ・ mm ※フラットヤーンクロス (70g/㎡程度) ・ P1BI ・ BI-1 ・ BI-2							
㉗	不当要求等への対応	暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次による。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者が、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。		改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ [3.3.2] ※表3.3.5及び表3.3.6による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ [3.3.2] ※表3.3.3から表3.3.4までによる 絶縁工法の材料 ・ 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート ・ 砂付あなあきルーフィング 押え金物の材質及び形状 ※ 図示 ・ アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2] 乾式保護材 ・ 窯業系パネル (・ I種 ※II種) ・ 金属複合板 [3.3.5] 製造所 評価名簿による 立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 [表3.3.4][表3.3.5] ・ 適用する ・ 適用しない 平場の保護コンクリート [3.3.5] こて仕上げる場合 ※80mm以上 ・ 床タイル張り等仕上げる場合 ※60mm以上 ・ コンクリートの仕上りの平たんさ [3.3.5] [表8.1.5] ※ a 種 ・ b 種 ・ c 種 屋上排水溝 ・ 図示 ・ [3.3.5] 屋根露出防水 [3.3.2][表3.3.7～表3.3.9] 防水層の種類 工 法 種 別 施工箇所 断熱材 仕上塗料 備考 ・ M4C ・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4 種類 ※ 製造所の指定による 使用量 ※ 製造所の指定による ・ M3D ・ D-1 ・ M0D ・ D-2 ・ 高日射反射率塗料の適用								
35	消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。		改質アスファルトルーフィングシート防水 [3.3.2]								
㉘	工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。		合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2][表3.5.1～表3.5.3]								
仮設工事（改修）												
①	足場その他	内部足場 ※ きゃたつ、足場板等 ・ [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※ 本足場 ・ 外部足場の養生 ※ 図示 ・ 防護シート ○メッシュシート ・ 防音シート ・ 防音パネル 材料、撤去材の運搬方法 ・ A種 ⊗ B種 ・ C種 ・ D種 ○E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示 ・) D種の場合 利用可能な階段(※図示 ・) ○ 屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 ・ 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。										
②	養生	○ 既存部分の養生 ※ ビニルシート、合板等 ・ [2.3.1] ・ 既存家具、既存設備等の養生 ※ ビニルシート等 ・ ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※ 図示 ・ 固定された備品等の移動 ※図示 ・ 開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。										
			高 知 市 都 市 建 設 部 公 共 建 築 課		工 事 名		係	係 長	課 長 補 佐	課 長	図 面 番 号	
			城北中学校北舎防水改修工事		図 面 名		改修特記仕様書(2)	2026.07	縮 尺	作 図	年 月 日	A-02
		</										

項 目		特 記 事 項	項 目	特 記 事 項	項 目	特 記 事 項																																																																													
⑥	塗膜防水	ルーフィングシートの種類 ※表3.5.1～表3.5.3までによる 立上り部等の防水層撤去 ・ 行う ○行わない [表3.1.1] 立上り部等の保護層撤去 ・ 行う ・ 行わない POS工法及びP0SI工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)(g)による 固定金具の材質及び形状 [3.5.2] 材質 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの ・ 厚さ(mm) ※ 0.4以上 S-M1及びびSI-M2の絶縁用シート及びび可塑剤移行防止用シートの材質 [3.5.2] ・ ※発泡ポリエチレンシート 脱気装置の種類及び設置数量 ※ 製造所の仕様による(ステンレス) [3.5.3] 歩行の仕様 [表3.5.1] ※ 非歩行用 ・ 軽歩行用 (施工箇所:) SI-M1及びびSI-M2の防湿用フィルムの設置 ※設けない ・ 設ける [表3.5.2] プレキャストコンクリート下地の目地処理 (接着工法の場合) [3.5.4] ・ 行う (・ 図示 ・) ・ 行わない S-F1及びびSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り [3.5.4] ・ 行う (・ 図示 ・) ・ 行わない 一般部のルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合 建築基準法に基づく風圧力の(※1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1～表3.6.3] <table><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th colspan="2">仕上塗料</th><th>高日射反 射率塗料 の適用</th><th>備 考</th></tr><tr><th></th><th></th><th></th><th>種類</th><th>使用量</th><th></th><th></th></tr><tr><td>・ POX</td><td>・ X-1</td><td rowspan="4">図 示</td><td rowspan="4">※ 2 成分形アクリル樹脂系 ・ ふっ素樹脂系 ・ アクリルシリコン樹脂系</td><td rowspan="4">※製造所の仕様による</td><td rowspan="4">○</td><td rowspan="4">改修用トレン ○設ける ・ 設けない</td></tr><tr><td>・ L4X</td><td>○X-2</td></tr><tr><td></td><td>・ X-2H</td></tr><tr><td>・ P1Y</td><td>※Y-2</td></tr><tr><td>・ P2Y</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による ・ [3.6.3] ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの P1Y工法又はP2Y工法の保護層の仕様 ※図示 ガラスマット ・ 1層タイプ ・ 2層タイプ 表面の仕上げ ・ 平滑 ・ 粗面 押え金物の材質 ※アルミニウム ・ 押え金物の寸法 ※図示 ・ ⑧ シーリング シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4～3.7.7][表3.1.2] ○シーリング充填工法 ○シーリング再充填工法 ・ 拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ エッジング材張り ・ 適用する [3.7.7] シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.2][表3.7.1] ※下表による(下表以外は表3.7.1による) <table><tr><th>種類(記号)</th><th>主成分による区分</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・ SR-1</td><td rowspan="2">シリコーン系</td><td></td></tr><tr><td>・ SR-2</td><td></td></tr><tr><td>○MS-2</td><td>変成シリコーン系</td><td>全て</td></tr><tr><td>・ PS-2</td><td>ポリサルファイド系</td><td></td></tr><tr><td>・ PU-2</td><td>ポリウレタン系</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 仕上げを行わない箇所 () [表3.7.1] シーリング材の目地寸法 [3.7.3] <table><tr><th>箇所</th><th>打継ぎ/ひび割れ誘発目地</th><th>ガラス回りの目地</th><th>左記以外の目地</th></tr><tr><td>幅(mm)</td><td>※ 20以上 ・</td><td>※幅及び深さ5以上</td><td>※ 10以上 ・</td></tr><tr><td>深さ(mm)</td><td>※ 10以上 ・</td><td>[5.13.3]による場合を除く</td><td>※ 10以上 ・</td></tr></table> 接着性試験 [3.7.8] ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 9 とい 材料 [3.8.2][表3.8.1] <table><tr><th>材 種</th><th>寸 法</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</td><td></td><td>※たてどい</td></tr><tr><td>・ 硬質ポリ塩化ビニル管カラー(ｶﾀｰVP)</td><td></td><td>※たてどい</td></tr><tr><td>・ 硬質塩化ビニル雨どい</td><td></td><td>※軒どい ・ たてどい</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔 [3.8.2] 材種: ※ステンレス製 ・ 溶融亜鉛めっき その他: ※表3.8.2による 防露材のホルムアルデヒド放出量 ※ F☆☆☆☆ ・ [3.8.2] 既存のといその他の撤去 ※ 図示 ・ [3.8.3] 降雨等に対する養生方法 ※ 監督職員と協議による ・ 図示 銅管製といの防露巻き ・ 表3.8.4による たてどい受金物の取付け ・ 図示 ルーフトレンの取付け ・ 水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する。 ⑩ 保証書 (シーリング除く) 受注者、施工者、材料製造所連名による 10 年保証(完成届提出日より15日後から) ⑪ 高日射反射率塗料塗リ JIS K 5675 (屋根用高日射反射率塗料) に適合するもの、または、グリーン購入法の高日射反射率防水に適合する保護塗料とする。	工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反 射率塗料 の適用	備 考				種類	使用量			・ POX	・ X-1	図 示	※ 2 成分形アクリル樹脂系 ・ ふっ素樹脂系 ・ アクリルシリコン樹脂系	※製造所の仕様による	○	改修用トレン ○設ける ・ 設けない	・ L4X	○X-2		・ X-2H	・ P1Y	※Y-2	・ P2Y							種類(記号)	主成分による区分	施 工 箇 所	・ SR-1	シリコーン系		・ SR-2		○MS-2	変成シリコーン系	全て	・ PS-2	ポリサルファイド系		・ PU-2	ポリウレタン系		・			箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地	幅(mm)	※ 20以上 ・	※幅及び深さ5以上	※ 10以上 ・	深さ(mm)	※ 10以上 ・	[5.13.3]による場合を除く	※ 10以上 ・	材 種	寸 法	施 工 箇 所	・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		※たてどい	・ 硬質ポリ塩化ビニル管カラー(ｶﾀｰVP)		※たてどい	・ 硬質塩化ビニル雨どい		※軒どい ・ たてどい			
	工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反 射率塗料 の適用	備 考																																																																												
				種類	使用量																																																																														
	・ POX	・ X-1	図 示	※ 2 成分形アクリル樹脂系 ・ ふっ素樹脂系 ・ アクリルシリコン樹脂系	※製造所の仕様による	○	改修用トレン ○設ける ・ 設けない																																																																												
	・ L4X	○X-2																																																																																	
		・ X-2H																																																																																	
	・ P1Y	※Y-2																																																																																	
	・ P2Y																																																																																		
	種類(記号)	主成分による区分	施 工 箇 所																																																																																
	・ SR-1	シリコーン系																																																																																	
・ SR-2																																																																																			
○MS-2	変成シリコーン系	全て																																																																																	
・ PS-2	ポリサルファイド系																																																																																		
・ PU-2	ポリウレタン系																																																																																		
・																																																																																			
箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地																																																																																
幅(mm)	※ 20以上 ・	※幅及び深さ5以上	※ 10以上 ・																																																																																
深さ(mm)	※ 10以上 ・	[5.13.3]による場合を除く	※ 10以上 ・																																																																																
材 種	寸 法	施 工 箇 所																																																																																	
・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		※たてどい																																																																																	
・ 硬質ポリ塩化ビニル管カラー(ｶﾀｰVP)		※たてどい																																																																																	
・ 硬質塩化ビニル雨どい		※軒どい ・ たてどい																																																																																	



付近見取り図

- 凡例：
- 工事対象建築物を示す
 - 別途契約工事を示す
 - 工事車両置場を示す(5台程度)
 - 工事資機材置場を示す
 - 施設利用者出入口、進入経路
 - 工事関係者出入口、進入経路
 - 仮囲い：ガードフェンス H=1,800程度

西門 W=4,000

道路巾員 5.0m

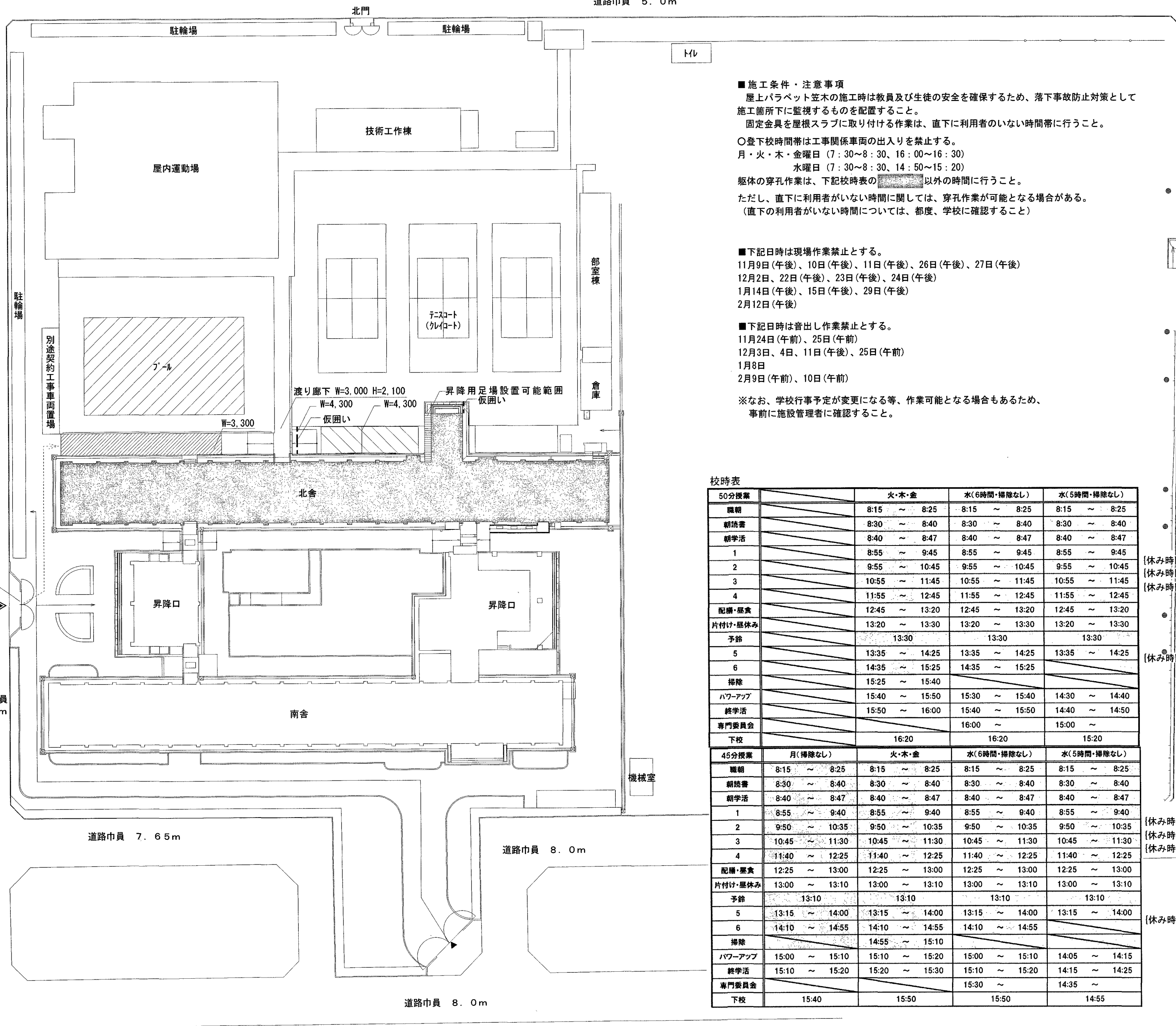
道路巾員 7.65m

道路巾員 8.0m

道路巾員 8.0m

道路巾員 5.0m

道路巾員 6.0m



■施工条件・注意事項
屋上パラベット笠木の施工時は教員及び生徒の安全を確保するため、落下事故防止対策として施工箇所下に監視するものを配置すること。
固定金具を屋根スラブに取り付ける作業は、直下に利用者のいない時間帯に行うこと。
○登下校時間帯は工事関係車両の出入りを禁止する。
月・火・木・金曜日(7:30~8:30、16:00~16:30)
水曜日(7:30~8:30、14:50~15:20)
躯体の穿孔作業は、下記校時表の[]以外の時間帯に行うこと。
ただし、直下に利用者がいない時間に関しては、穿孔作業が可能となる場合がある。
(直下の利用者がいない時間については、都度、学校に確認すること)

■下記日時は現場作業禁止とする。
11月9日(午後)、10日(午後)、11日(午後)、26日(午後)、27日(午後)
12月2日(午後)、23日(午後)、24日(午後)
1月14日(午後)、15日(午後)、29日(午後)
2月12日(午後)

■下記日時は音出し作業禁止とする。
11月24日(午前)、25日(午前)
12月3日、4日、11日(午後)、25日(午前)
1月8日
2月9日(午前)、10日(午前)

※なお、学校行事予定が変更になる等、作業可能となる場合もあるため、事前に施設管理者に確認すること。

校時表

50分授業		火・木・金	水(6時間・掃除なし)	水(5時間・掃除なし)
開校		8:15 ~ 8:25	8:15 ~ 8:25	8:15 ~ 8:25
朝読書		8:30 ~ 8:40	8:30 ~ 8:40	8:30 ~ 8:40
朝学活		8:40 ~ 8:47	8:40 ~ 8:47	8:40 ~ 8:47
1		8:55 ~ 9:45	8:55 ~ 9:45	8:55 ~ 9:45
2		9:55 ~ 10:45	9:55 ~ 10:45	9:55 ~ 10:45
3		10:55 ~ 11:45	10:55 ~ 11:45	10:55 ~ 11:45
4		11:55 ~ 12:45	11:55 ~ 12:45	11:55 ~ 12:45
配膳・昼食		12:45 ~ 13:20	12:45 ~ 13:20	12:45 ~ 13:20
片付け・昼休み		13:20 ~ 13:30	13:20 ~ 13:30	13:20 ~ 13:30
予鈴		13:30	13:30	13:30
5		13:35 ~ 14:25	13:35 ~ 14:25	13:35 ~ 14:25
6		14:35 ~ 15:25	14:35 ~ 15:25	14:35 ~ 15:25
掃除		15:25 ~ 15:40		
パワーアップ		15:40 ~ 15:50	15:30 ~ 15:40	14:30 ~ 14:40
終学活		15:50 ~ 16:00	15:40 ~ 15:50	14:40 ~ 14:50
専門委員会			16:00 ~	15:00 ~
下校		16:20	16:20	15:20
45分授業	月(掃除なし)	火・木・金	水(6時間・掃除なし)	水(5時間・掃除なし)
開校	8:15 ~ 8:25	8:15 ~ 8:25	8:15 ~ 8:25	8:15 ~ 8:25
朝読書	8:30 ~ 8:40	8:30 ~ 8:40	8:30 ~ 8:40	8:30 ~ 8:40
朝学活	8:40 ~ 8:47	8:40 ~ 8:47	8:40 ~ 8:47	8:40 ~ 8:47
1	8:55 ~ 9:40	8:55 ~ 9:40	8:55 ~ 9:40	8:55 ~ 9:40
2	9:50 ~ 10:35	9:50 ~ 10:35	9:50 ~ 10:35	9:50 ~ 10:35
3	10:45 ~ 11:30	10:45 ~ 11:30	10:45 ~ 11:30	10:45 ~ 11:30
4	11:40 ~ 12:25	11:40 ~ 12:25	11:40 ~ 12:25	11:40 ~ 12:25
配膳・昼食	12:25 ~ 13:00	12:25 ~ 13:00	12:25 ~ 13:00	12:25 ~ 13:00
片付け・昼休み	13:00 ~ 13:10	13:00 ~ 13:10	13:00 ~ 13:10	13:00 ~ 13:10
予鈴	13:10	13:10	13:10	13:10
5	13:15 ~ 14:00	13:15 ~ 14:00	13:15 ~ 14:00	13:15 ~ 14:00
6	14:10 ~ 14:55	14:10 ~ 14:55	14:10 ~ 14:55	14:10 ~ 14:55
掃除		14:55 ~ 15:10		
パワーアップ	15:00 ~ 15:10	15:10 ~ 15:20	15:00 ~ 15:10	14:05 ~ 14:15
終学活	15:10 ~ 15:20	15:20 ~ 15:30	15:10 ~ 15:20	14:15 ~ 14:25
専門委員会			15:30 ~	14:35 ~
下校	15:40	15:50	15:50	14:55

{休み時間10分は作業可能
{休み時間10分は作業可能
{休み時間10分は作業可能

{休み時間10分は作業可能

{休み時間10分は作業可能
{休み時間10分は作業可能
{休み時間10分は作業可能

{休み時間10分は作業可能

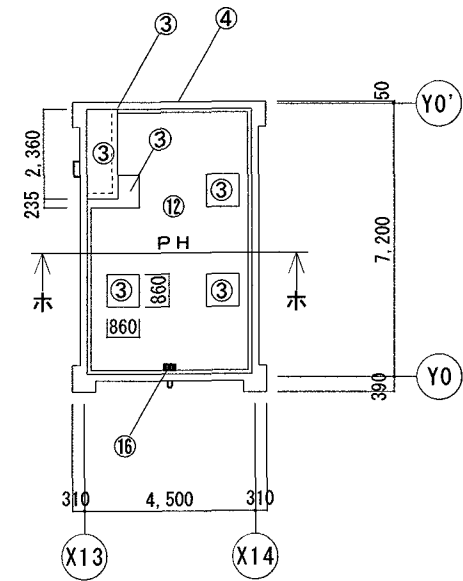
配置図兼仮設計画図 1/500

工事対象建築物を示す。

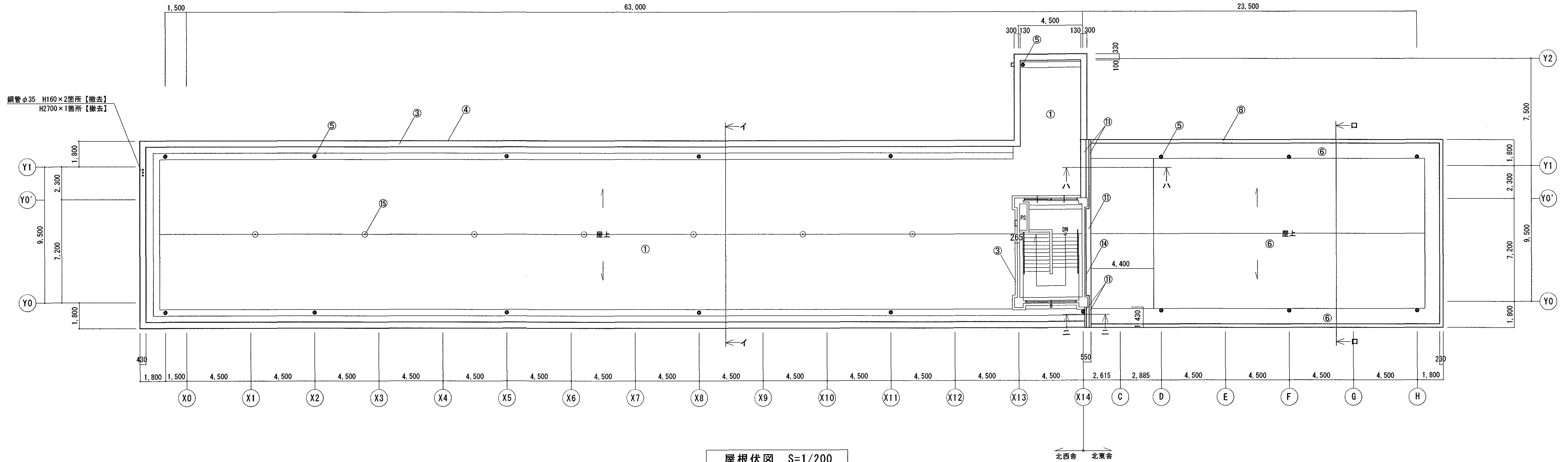
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
城北中学校北舎防水改修工事	上田	大下	田中	松本	A-04
図面名 付近見取り図・配置図兼仮設計画図	作図	年	月	日	

記号	改修前	改修後
①	合成高分子系 μ -フィン γ シート防水 (S-M2: 機械的固定工法) 【既存のまま】	合成高分子系 μ -フィン γ シート防水 (S-M2: 機械的固定工法) $t=1.5$ +高日射反射率塗料塗り【新設】
②	合成高分子系 μ -フィン γ シート防水 (S-M2: 機械的固定工法) 【撤去】	下地調整 (※リマセメント β -スト塗り) のうえ、合成高分子系 μ -フィン γ シート (S-F2: 接着工法) $t=1.5$ +高日射反射率塗料塗り【新設】
③	F R P 防水 【既存のまま】	立上り部: 水洗い、下地処理 (ケレン) のうえ、塗膜防水+高日射反射率塗料塗り【新設】
④	押え金物L-140 $\times$ 55 シーリング 共 【撤去】	γ LM押え金物L-65 $\times$ 45 シーリング 共 【新設】
⑤	既存 ϕ 100 γ 【ストレーナーのみ撤去】	在来 ϕ 100処理 γ ルターフリー+塩ビ系改修用 ϕ 100用 γ ストレーナー (山高タイプ) 【新設】
⑥	既存シート防水 【既存のまま】	合成高分子系 μ -フィン γ シート防水 (S-M2: 機械的固定工法) $t=1.5$ +高日射反射率塗料塗り【新設】
⑦	既存シート防水 【撤去】	下地調整 (※リマセメント β -スト塗り) のうえ、合成高分子系 μ -フィン γ シート防水 (S-F2: 接着工法) $t=1.5$ +高日射反射率塗料塗り【新設】
⑧	γ LM笠木W=230 【一時撤去】	γ LM笠木 W=230 【再取付け】
⑨	押え金物L-25 $\times$ 10 シーリング 共 【撤去】	端部押え金物 γ LM製W=50、シーリング 共 【新設】
⑩	押え金物L-25 $\times$ 10 シーリング 共 【撤去】	γ LM押え金物L-40 $\times$ 10 シーリング 共 【新設】
⑪	γ LM製Exp. jカ β - 【一時撤去】	γ LM製Exp. jカ β - 【再取付け】
⑫	F R P 防水 【既存のまま】	平場: 水洗い、下地処理 (ケレン) のうえ、塗膜防水+高日射反射率塗料塗り【新設】
⑬	F R P 防水 【既存のまま】	壁面: 水洗い、下地処理 (ケレン) のうえ、塗膜防水+高日射反射率塗料塗り【新設】
⑭	ステンレス水切 【一時撤去】	ステンレス水切り 【再取付け】
⑮	既存脱気装置 7箇所 【撤去】	
⑯	既存 ϕ 100 γ コ 【ストレーナーのみ撤去】	在来 ϕ 100処理 γ ルターフリー+FRP系改修用 ϕ 100用 γ コ ストレーナー (山高タイプ) 【新設】
⑰	γ LM防水押え金物L-30 $\times$ 10 シーリング 共 【撤去】	γ LM押え金物L-40 $\times$ 10 シーリング 共 【新設】
⑱		端部押え金物 γ LM製W=50、シーリング 共 【新設】

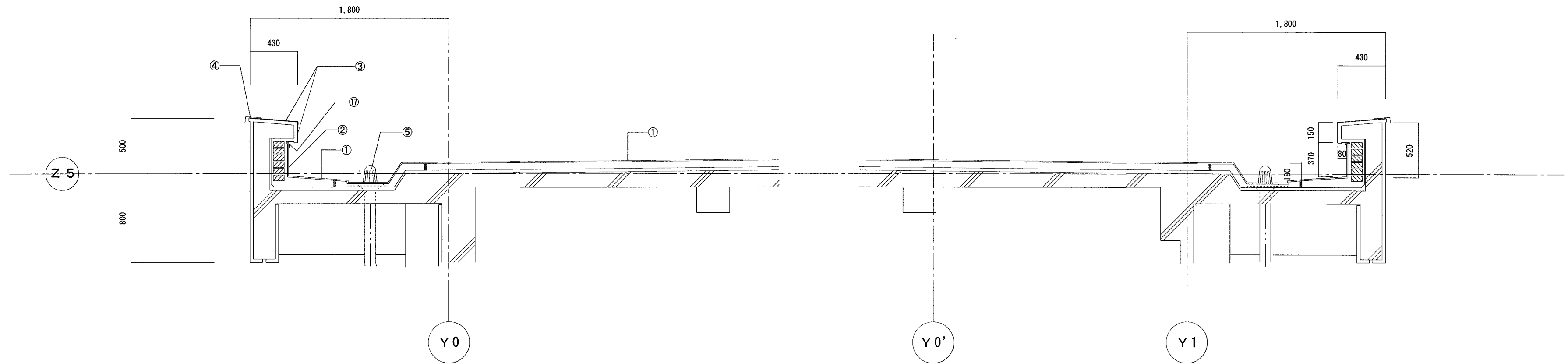


PH屋根伏図 S=1/200

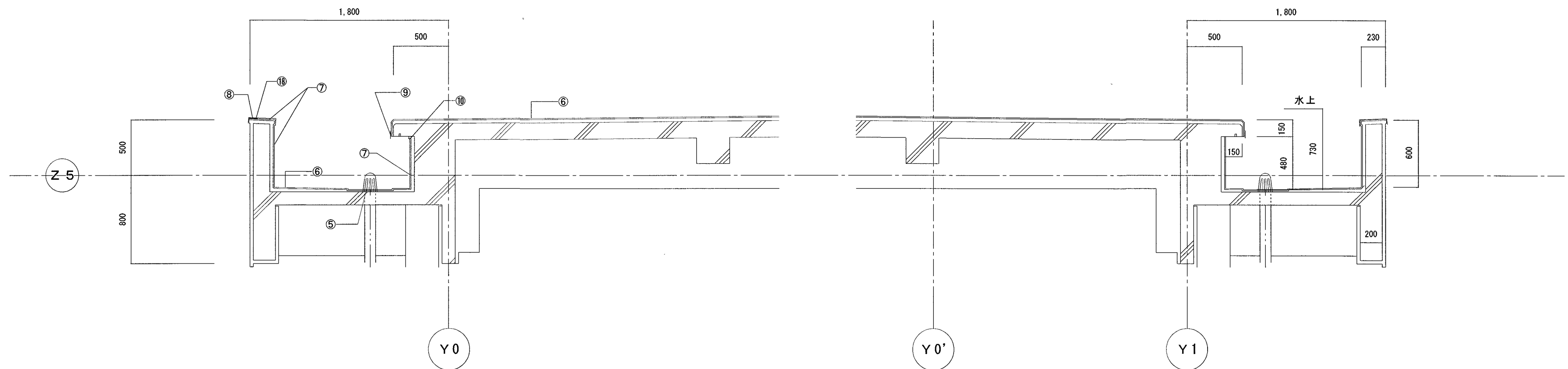


屋根伏図 S=1/200

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	城北中学校北舎防水改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
				図面名	屋根伏図	縮尺	1/200	作図	年 月 日	A-05

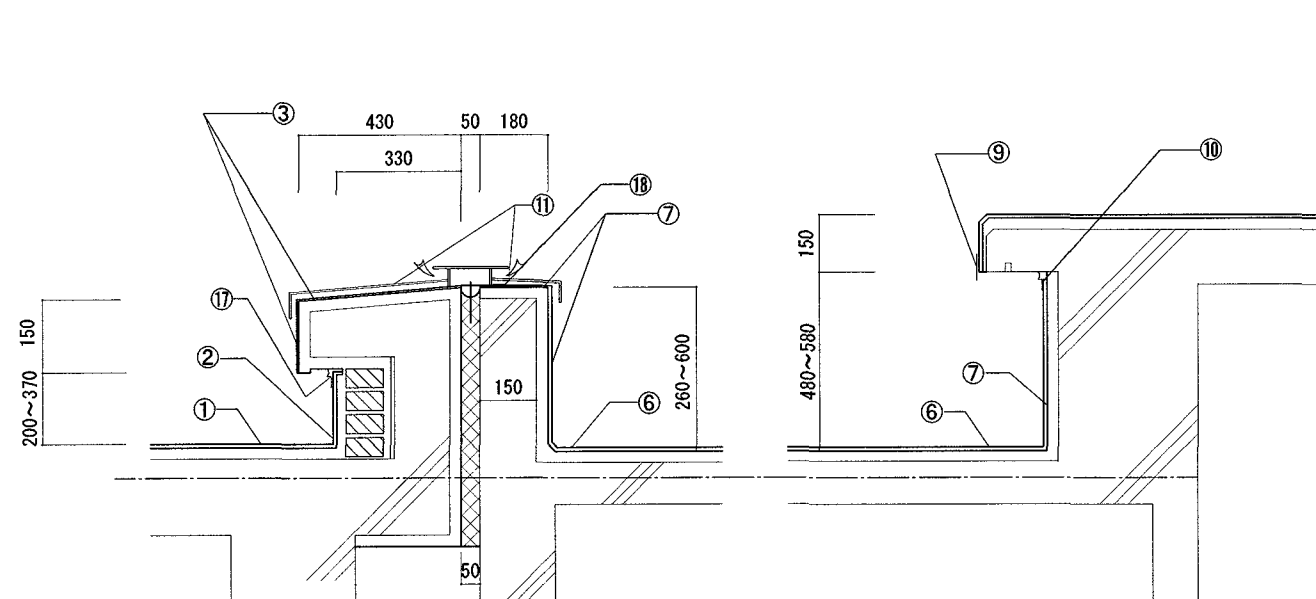


イーイ断面図 S=1/30

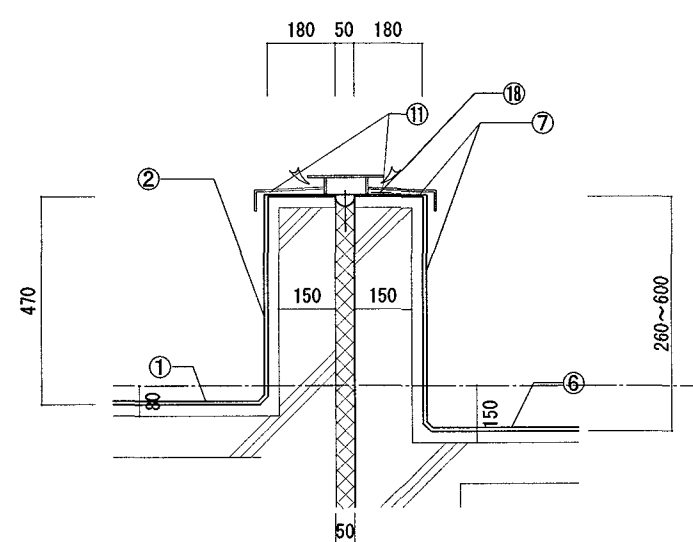


ロー口断面図 S=1/30

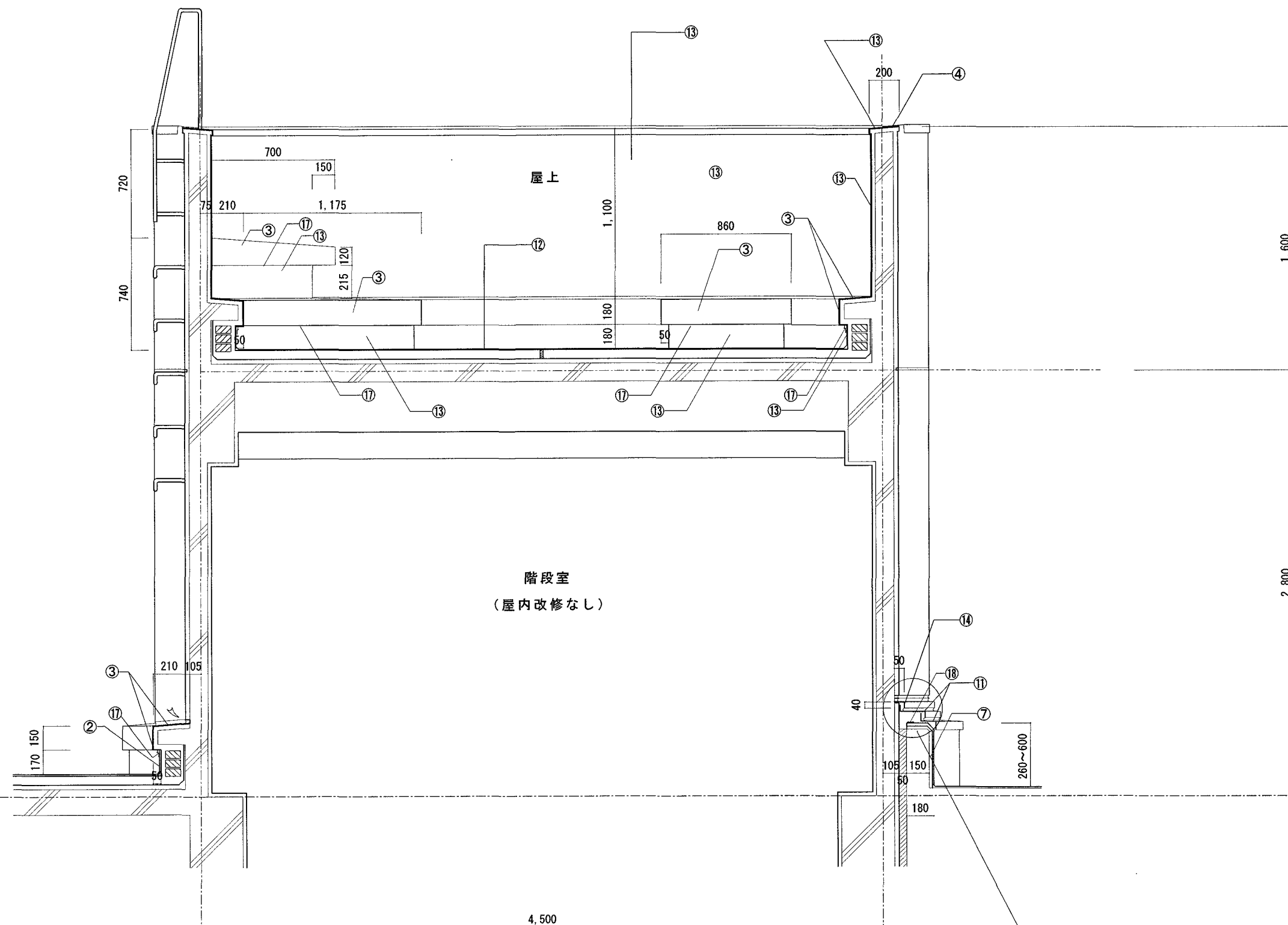
記号	改修前	改修後
①	合成高分子系 μ -フィンクシート防水 (S-M2: 機械的固定工法) 【既存のまま】	合成高分子系 μ -フィンクシート防水 (S-M2: 機械的固定工法) $t=1.5$ + 高日射反射率塗料塗り 【新設】
②	合成高分子系 μ -フィンクシート防水 (S-M2: 機械的固定工法) 【撤去】	下地調整 (ホリマセメント β -スト塗り) のうえ、合成高分子系 μ -フィンクシート (S-F2: 接着工法) $t=1.5$ + 高日射反射率塗料塗り 【新設】
③	F R P 防水 【既存のまま】	立上り部: 水洗い、下地処理 (ケレン) のうえ、塗膜防水 + 高日射反射率塗料塗り 【新設】
④	押え金物 L-140 $\times$ 55 シーリング 共 【撤去】	μ 製押え金物 L-65 $\times$ 45 シーリング 共 【新設】
⑤	既存ドレン ϕ 100 $\times$ 100 【ストレーナーのみ撤去】	在来ドレン処理コルター μ フリー + 塩ビ系改修用ドレン ϕ 100用 γ ストレーナー (山高タイプ) 【新設】
⑥	既存シート防水 【既存のまま】	合成高分子系 μ -フィンクシート防水 (S-M2: 機械的固定工法) $t=1.5$ + 高日射反射率塗料塗り 【新設】
⑦	既存シート防水 【撤去】	下地調整 (ホリマセメント β -スト塗り) のうえ、合成高分子系 μ -フィンクシート (S-F2: 接着工法) $t=1.5$ + 高日射反射率塗料塗り 【新設】
⑧	μ 製 μ 木 μ =230 【一時撤去】	μ 製 μ 木 μ =230 【再取付け】
⑨	押え金物 L-25 $\times$ 10 シーリング 共 【撤去】	端部押え金物 μ 製 μ W=50、シーリング 共 【新設】
⑩	押え金物 L-25 $\times$ 10 シーリング 共 【撤去】	μ 製押え金物 L-40 $\times$ 10 シーリング 共 【新設】
⑪	μ 製 Exp. μ ハ μ - 【一時撤去】	μ 製 Exp. μ ハ μ - 【再取付け】
⑫	F R P 防水 【既存のまま】	平場: 水洗い、下地処理 (ケレン) のうえ、塗膜防水 + 高日射反射率塗料塗り 【新設】
⑬	F R P 防水 【既存のまま】	壁面: 水洗い、下地処理 (ケレン) のうえ、塗膜防水 + 高日射反射率塗料塗り 【新設】
⑭	ステンレス水切 【一時撤去】	ステンレス水切り 【再取付け】
⑮	既存脱気装置 7箇所 【撤去】	
⑯	既存ドレン ϕ 100 $\times$ 100 【ストレーナーのみ撤去】	在来ドレン処理コルター μ フリー + FRP系改修用ドレン ϕ 100用 γ ストレーナー (山高タイプ) 【新設】
⑰	μ 製防水押え金物 L-30 $\times$ 10 シーリング 共 【撤去】	μ 製押え金物 L-40 $\times$ 10 シーリング 共 【新設】
⑱		端部押え金物 μ 製 μ W=50、シーリング 共 【新設】



ハ一ハ断面図 S=1/20



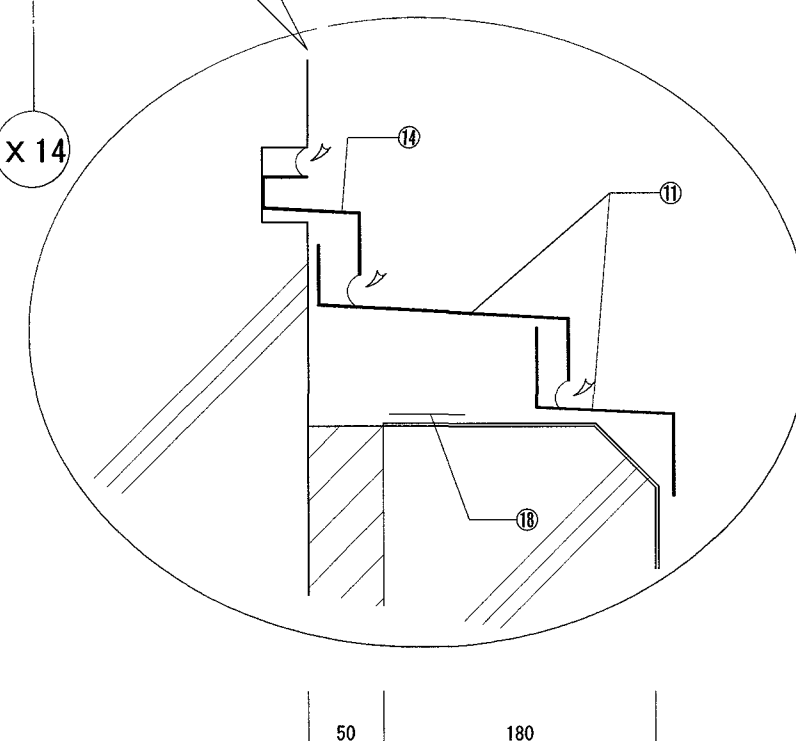
ニ一ニ断面図 S=1/20



X 13

ホ一ホ断面図 S=1/30

X 14

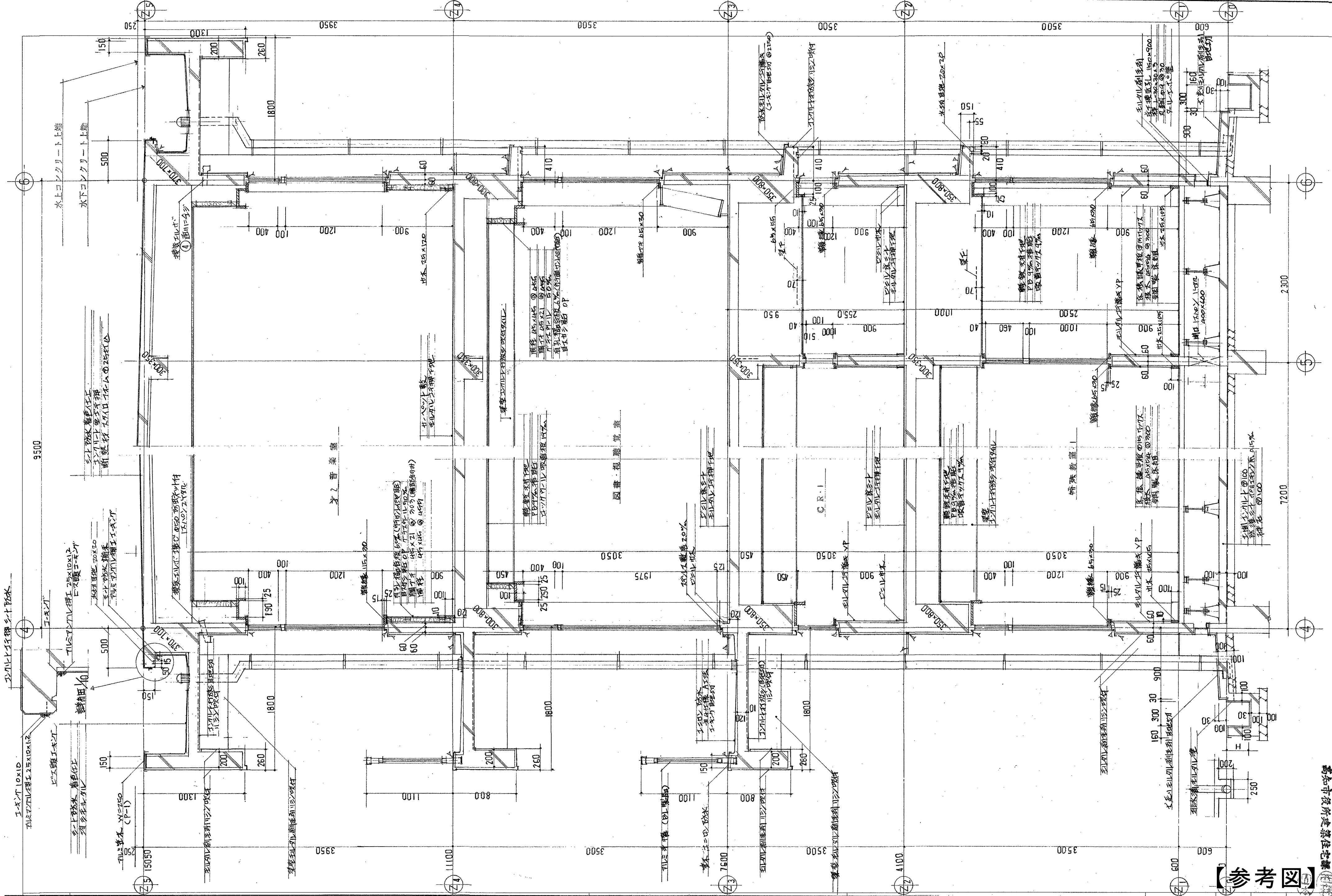


記号	改修前	改修後
①	合成高分子系 μ -フィンクシート防水 (S-M2: 機械的固定工法) 【既存のまま】	合成高分子系 μ -フィンクシート防水 (S-M2: 機械的固定工法) $t=1.5$ +高日射反射率塗料塗り 【新設】
②	合成高分子系 μ -フィンクシート防水 (S-M2: 機械的固定工法) 【撤去】	下地調整 (※リマセメントペースト塗り) のうえ、合成高分子系 μ -フィンクシート (S-F2: 接着工法) $t=1.5$ +高日射反射率塗料塗り 【新設】
③	FRP防水 【既存のまま】	立上り部: 水洗い、下地処理 (ケレン) のうえ、塗膜防水+高日射反射率塗料塗り 【新設】
④	押え金物L-140 $\times$ 55 シーリング 共 【撤去】	7 μ m押え金物L-65 $\times$ 45 シーリング 共 【新設】
⑤	既存ドレン ϕ 100 $\times$ 100 【ストレーナーのみ撤去】	在来ドレン処理ユーティリティフリー+塩ビ系改修用ドレン ϕ 100用 $\times$ 100 ストレーナー (山高タイプ) 【新設】
⑥	既存シート防水 【既存のまま】	合成高分子系 μ -フィンクシート防水 (S-M2: 機械的固定工法) $t=1.5$ +高日射反射率塗料塗り 【新設】
⑦	既存シート防水 【撤去】	下地調整 (※リマセメントペースト塗り) のうえ、合成高分子系 μ -フィンクシート防水 (S-F2: 接着工法) $t=1.5$ +高日射反射率塗料塗り 【新設】
⑧	7 μ m笠木W=230 【一時撤去】	7 μ m笠木W=230 【再取付け】
⑨	押え金物L-25 $\times$ 10 シーリング 共 【撤去】	端部押え金物 7 μ m製W=50、シーリング 共 【新設】
⑩	押え金物L-25 $\times$ 10 シーリング 共 【撤去】	7 μ m押え金物L-40 $\times$ 10 シーリング 共 【新設】
⑪	7 μ m製Exp. jカハ- 【一時撤去】	7 μ m製Exp. jカハ- 【再取付け】
⑫	FRP防水 【既存のまま】	平場: 水洗い、下地処理 (ケレン) のうえ、塗膜防水+高日射反射率塗料塗り 【新設】
⑬	FRP防水 【既存のまま】	壁面: 水洗い、下地処理 (ケレン) のうえ、塗膜防水+高日射反射率塗料塗り 【新設】
⑭	ステンレス水切 【一時撤去】	ステンレス水切り 【再取付け】
⑮	既存脱気装置 7箇所 【撤去】	
⑯	既存ドレン ϕ 100 $\times$ 100 【ストレーナーのみ撤去】	在来ドレン処理ユーティリティフリー+FRP系改修用ドレン ϕ 100用 $\times$ 100 ストレーナー (山高タイプ) 【新設】
⑰	7 μ m防水押え金物L-30 $\times$ 10 シーリング 共 【撤去】	7 μ m押え金物L-40 $\times$ 10 シーリング 共 【新設】
⑱		端部押え金物 7 μ m製W=50、シーリング 共 【新設】

※: 既存シーリング (15 $\times$ 10) 【撤去】・シーリング (MS-2) 15 $\times$ 10 【新設】

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
城北中学校北舎防水改修工事	上田	大下	電	松本	A-07
図面名	部分詳細図 (2)	縮尺	1/20, 1/50	作図	年 月 日

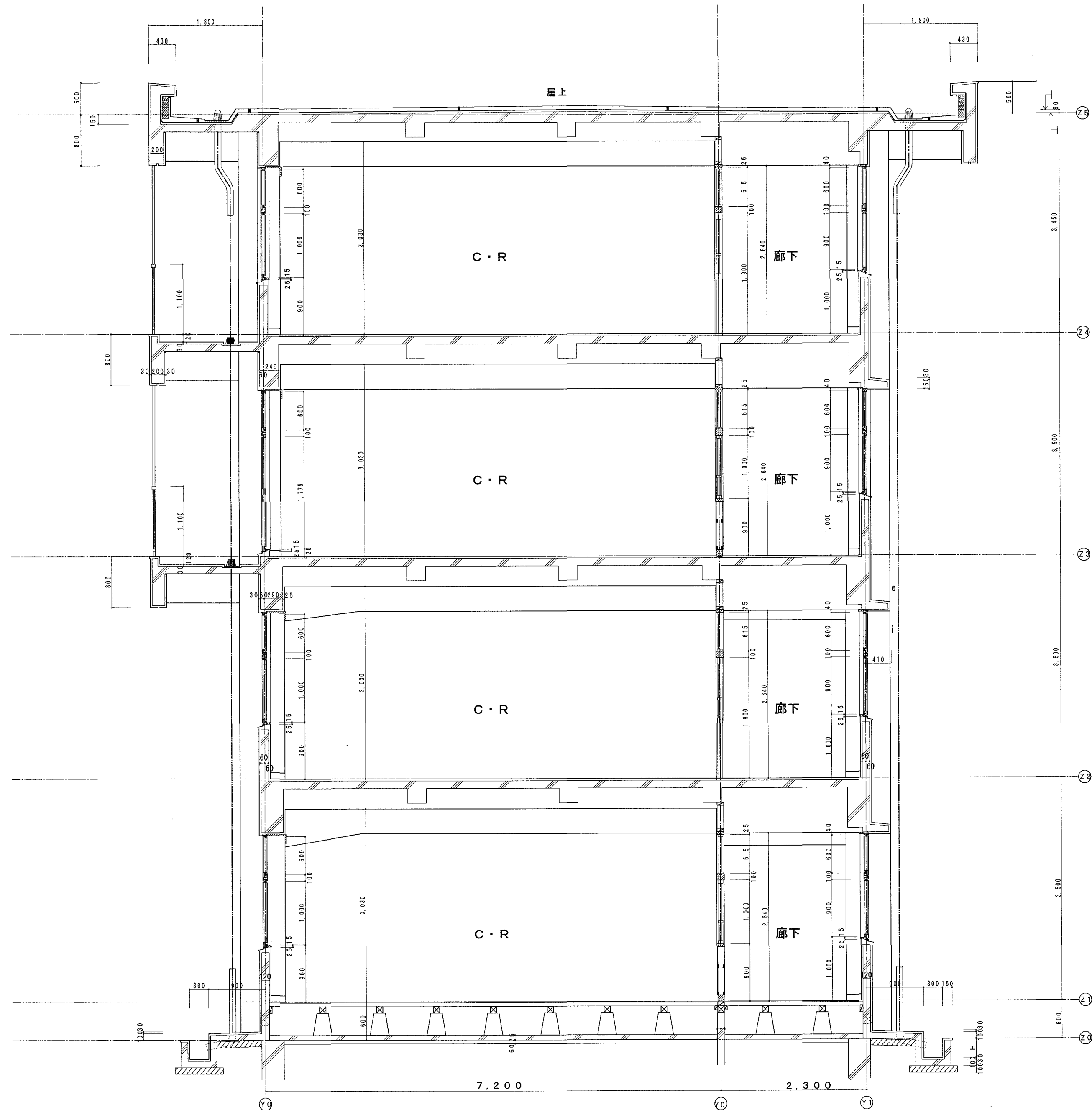


高知市役所建設住宅課

【参考図】

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	城北中学校北舎防水改修工事			係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	【参考図】北東舎 矩計図			作図	年	月	日
縮尺 1/30			A-08				



【参考図】

		高知市 都市建設部 公共建築課	工 事 名	係	係 長	課長補佐	課 長	図面番号	
			城北中学校北舎防水改修工事					A-09	
			図 面 名	【参考図】北西舎 矩計図	縮 尺	1 / 50	作 図		年 月 日

